

付属資料

1.	第1次事前評価調査報告書	51
2.	第2次事前評価調査報告書	61
3.	討議議事録 (R/D)	83
4.	ミニッツ (M/M) (プロジェクト・ドキュメントを含む)	101

1. 第1次事前評価調査報告書

ホンジュラス共和国算数指導力向上プロジェクトフェーズII

第1次事前評価調査報告書

第1次事前評価調査 報告書（平成17年6月作成）

目次

第1章 調査団派遣について.....	53
1-1. 調査目的.....	53
1-2. 調査団構成.....	55
1-3. 調査日程.....	55
第2章 調査結果要約.....	56
2-1. 調査総括（団長所感）.....	56
第3章 調査結果.....	57
第4章 プロジェクト実施に向けての留意点.....	59

第1章 調査団派遣について

1-1 調査目的

ホンジュラス共和国(以下ホンジュラス)は2003年4月より実施されている算数指導力向上プロジェクト(Proyecto de Mejoramiento de Enseñanza Técnica en el Area de Matemática: PROMETAM)で開発された教師用指導書および児童用作業帳が国定教材として2005年より全国配布されることになっている。PROMETAMは2006年3月に終了予定であるが、ホンジュラスにおいては、今後人材育成に重点を置いた支援を必要としている。また、PROMETAMの成果および蓄積された経験を知った他の中米諸国からも同様の協力をしてほしいとの要望がなされている。このような状況を受けて、ホンジュラスからPROMETAMフェーズとしてPROMETAMフェーズで開発した教材を活用し、ホンジュラス国内の教員研修および広域協力についてプロジェクトの実施が要請されている。

今回事前評価調査団はホンジュラス教育省、国立教育大学とPROMETAMフェーズのグランドデザインについて協議を行い、協議内容について署名を行うことを目的として、派遣するものである。

本調査では、今後の討議議事録(R/D)署名に向けて中米地域における広域協力のグランドデザインを検討した上で、ホンジュラス内におけるパイ協力の基本計画・実施体制ならびに投入計画について、大使館・JICA事務所および先方関係機関と協議の上、コンセンサスを形成することを目指す。具体的な調査内容は以下のとおり。

(1) 広域コンポーネント

1) 先方協力ニーズとの整合性

- ・ 広域協力の目標ならびに域内連携ネットワークの形成に係る先方の意向の確認
- ・ 上記を踏まえた協力分野、レベル、規模等に係る先方の意向の確認
- ・ 本広域協力の事務局に求められる役割・機能(レベルならびに範囲)、設置場所に係る先方の意向の確認

2) 協力基本計画

- ・ 人材育成(ホンジュラス/日本)および教材作成等のレベル、規模等の確認
- ・ プロジェクト協力期間の検討
- ・ 本広域協力を中米教育文化調整局(Coordinación Educativa y Cultural Centroamericana: CECC)の枠組みに整合させるにあたっての現状と課題(教材、現職教員研修等)

3) 実施体制

- ・ ホンジュラスPROMETAMから各国プロジェクトのサポート体制の確認
- ・ ホンジュラス人カウンターパートの配置、TOR、技術レベルの確認

4) 投入計画

- ・ 日本側および先方側の投入内容・規模・時期の確認
- ・ 専門家のTORの確認
- ・ 研修の内容および実施方法(ホンジュラス/日本)

5) プロジェクト実施までのスケジュール

- ・ 第2次事前評価調査および派遣時期、実施体制の確認

6) その他プロジェクト実施に必要な情報

- ・ 我が国の協力及び他ドナーとの連携の確認（教材開発と配布、新規教員養成、現職教員研修等）

（２）ホンジュラス国内コンポーネント

１）先方協力ニーズとの整合性

- ・ 策定中の「国家教員養成システム」の概要ならびに同システムの中で本プロジェクトに求められている役割（新規教員養成ならびに現職教員養成）
- ・ 主要対象として想定されている新規教員養成が占める、既存の開発計画における位置付け（PRSP（2001-2015）EFA-FIT（2003-2015）教育セクタープログラム（2005-2015：策定中）など）
- ・ 国立教育大学基礎教員養成課程における新規教員養成の現状と課題
- ・ 現行 PROMETAM 成果品（教師・児童用教材）の新規教員養成に対する活用可能性（算数教育講座指導マニュアル化の妥当性）
- ・ 現職教員研修に対しバイ協力で協力が必要なレベル・規模等

２）協力基本計画

- ・ プロジェクト協力対象の確認
- ・ プロジェクト協力期間の検討

３）実施体制

- ・ プロジェクト実施における教育省、国立教育大学、INICE の役割
- ・ 技プロと協力隊の連携のあり方

４）投入計画

- ・ 日本側および先方側の投入内容・規模・時期の確認
- ・ 専門家の TOR の確認
- ・ ホンジュラス人カウンターパートの配置、TOR、技術レベルの確認
- ・ 研修の内容および実施方法（ホンジュラス／日本）

５）プロジェクト実施までのスケジュール

- ・ 第２次事前評価調査および派遣時期、実施体制の確認

６）その他プロジェクト実施に必要な情報

- ・ 我が国の協力および他ドナーとの連携の確認（教材開発と配布、新規教員養成、現職教員研修等）

1 - 2 調査団構成

担当分野	氏名	所属
団長	小川正純	JICA 人間開発部第1グループ基礎教育第2チーム長
教育計画	小泉高子	JICA 人間開発部第1グループ基礎教育第2チーム職員
協力企画	松村元博	JICA 人間開発部第1グループ基礎教育第2チーム職員
企画調整	白石恵子	JICA 人間開発部第1グループ基礎教育第2チームジュニア専門員

1 - 3 調査日程

2005年6月13日から2005年6月18日まで(6日間)

日時		活動	備考
6月13日	月	成田発 ニューヨーク着	JL006
6月14日	火	ニューヨーク発 テグシガルパ着	AA953
		15:00 JICA 事務所、専門家との協議	
		16:00 日本大使館表敬	
		17:00 JICA 事務所、専門家との協議	
6月15日	水	09:00 JICA 事務所、専門家との協議	
		14:00 INICE 関係者との協議	
6月16日	木	09:00 JICA 事務所、専門家との協議	
		15:00 教育省、国立教育大学との協議	
6月17日	金	08:00 教育省、国立教育大学との協議(M/M 署名)	
		10:30 モデルプロジェクト関係者との協議	
		15:30 事務所報告	
6月18日	土	テグシガルパ サンサルバドル	TA391

第2章 調査結果要約

2 - 1 調査総括（団長所感）

今回調査において、ホンジュラス教育省、国立教育大学と PROMETAM フェーズ のグランドデザインについて協議を行った結果、概要および所感は以下のとおり。

（1）全体計画について

ホンジュラス国内についての協力要請内容としては、国立教育大学における新規教員養成についての協力が中心となっている。同時に現職教員研修への協力についてもホンジュラス側から要望があった。しかしながら、現職教員研修については、ホンジュラス教育省は具体的な計画を有していないこと、国立教育実践研究所（Instituto Nacional de Investigación y Capacitación Educativa：INICE）が組織として弱体であること等の問題があり、協力の可能性については更なる検討が必要である。なお、協力隊との連携についても重要視しており、協力隊の学校レベルにおける活動への協力が要望された。

（2）実施体制について

ホンジュラス側の実施体制としては、教育省、国立教育大学、INICE からなる国家教員養成研修審議会が教師教育の政策全般を策定する審議会として今年7月に設立される予定である。同審議会の下には算数教育支援ユニットが設置され、教員研修全般を牽引する役割を果たすこととなる。研修の実施については、新規教員研修を国立教育大学が実施し、現職教員研修を INICE が担当する。

（3）広域協力について

広域協力の協力内容は、他中米諸国における教師用指導書、児童用作業帳、研修マニュアルの開発、およびそれらを活用した教員研修の実施であることが確認された。広域協力のコーディネーション、技術的サポート、情報交換のネットワーク等の機能を有した事務局の設置について当方より提案した。これに対し、ホンジュラスより、CECC の下に事務局（General Committee）を設置する案が出された。これにより、中米諸国のイニシアティブにより、算数教育の広域協力が持続性を持つようになることとともに、各国における連携ネットワーク構築が期待できる。

第3章 調査結果

教育省、国立教育大学等との協議を経て、6月17日にミニッツに署名をした。主な協議事項は以下のとおりである。

(1) 協力対象

ホンジュラス国内への技術協力プロジェクトとしては、新規教員養成に軸足を置くが、現職教員研修の INICE に対するサポートも継続して行うことで合意した。

(2) 青年海外協力隊の役割

協力隊は学校レベルでの協力をを行い、INICE の地方組織が現職教員研修のコーディネーション機能を持つことで合意した。

(3) 新規教員研修への協力に対する先方ニーズに照らした整合性

EFA や PRSP といった国家計画に、新規教員養成のリソース (EFA) 特に関心のある農村部の教員研修の質の向上 (PRSP) というコンポーネントが入っているので、新規教員養成はホンジュラスの政策に合致することを確認した。加えて、以前は師範学校であった INICE や国立大学の基礎教育教員養成課 (Formación Inicial de Docentes : FID) の地方組織が上記国家計画に述べられている教員研修に対して積極的な役割を担うことが期待されているとの言及があった。

(4) 教師教育に対する主要機関の役割

ホンジュラス側は、教師教育に対する3つの主要機関として、国立教育大学、INICE、そして教育省をあげ、それぞれの役割を下記のように説明した。国立教育大学は、新規教員養成に責任を持つ、INICE は現職教員研修を実施する、教育省は政策を定める機関として存在し、政府の代表として機能する。そして、3つの機関が存在することによって、教師教育に対して必要な機能を備え、政策を作り上げていることの説明があった。

(5) 国家教師教育審議会の役割

ホンジュラス側より、上記審議会は教師教育に関する全体的な政策を決定する機関となる (教育大臣が代表) 予定であること、審議会メンバーは国立教育大学、教育省、そして INICE から出る予定であることの説明があった。さらに、PROMETAM フェーズが始まる 2006 年には審議会が機能できるよう、2005 年の7月までに法的措置を完了するとの表明があった。それに対し、日本側は法的措置が終わったあとの審議会に関する政策文書を提供してもらうことを要請し、ホンジュラス側はこれを了承した。

(6) 中米広域協力

エルサルバドル、ニカラグア、ドミニカ共和国に対する地域協力の主なコンポーネントは、教師用指導書・児童用作業帳・教員トレーニングマニュアルの作成と教員研修とすることで合意を得た。ただし現在のところ、上記の国々では協力対象が新規教員養成なのか現職教員研修なのか定まっていないため、日本側は今回の調査で各国の意向を確認する必要があると表明した。

(7) 広域協力事務局の設立

日本側は広域協力を行ううえで、協力対象国の間での調整、技術的支援、情報共有を含むネットワーク構築のために、事務局の設置の必要性を提案した。ホンジュラス側は、その見解に同意を示し、ミニッツの ANNEX1 に集約される案が提示された。ホンジュラスのこれまでの類似経験に基づき、事務局は CECC の下の委員会という形をとり、メンバーは、各国の教育省代表者で、TOR（詳細については第 2 次事前調査で協議のうえ、設定される）を満たし、正式に教育大臣の任命を受けたものになることで合意した。広域協力の持続可能性の観点から、本委員会の設置は、フェーズ プロジェクト実施には必要なものであることに両者は合意し、ホンジュラス側はそのプロセスに必要な措置をとることを約束した。

(8) PROMETAM 教材の著作権

日本側は、広域協力に不可欠な PROMETAM 教材の著作権について、教育省、国立教育大学、JICA の三者でミニッツを早期に結ぶことを要請し、ホンジュラス側はこれを了承した。

(9) ホンジュラスカウンターパートの配置

ホンジュラス側は、カウンターパート 2 名を INICE に中央レベルの現職教員研修のために配置し、カウンターパート 1 名を新規教員養成のために国立教育大学に配置する計画を説明した。

(10) 7 年生から 9 年生

ホンジュラス側は、国立教育大学基礎教員養成課程は 1 年生から 9 年生の教員養成過程である。全員が 1 年生～6 年生まで必須とされており、数学を専攻する学生は 7 年生から 9 年生の数学教育課程も必須とされているので、7 年生から 9 年生に対しても 1 年生から 6 年生同様の協力を依頼した。日本側は、ホンジュラスカウンターパートが PROMETAM フェーズ において能力を向上させ独自で 7 年生から 9 年生の教材を作り始めたことに対して高く評価した。引き続きホンジュラスカウンターパートのイニシアティブで教材開発を進め、日本人専門家は必要に応じ技術的アドバイスを行うことを提案した。ホンジュラス側はこの提案に同意した。

第4章 プロジェクト実施に向けての留意点

(1) 著作権について

PROMETAM で開発した教材の著作権については、ホンジュラス国内において登録の必要性があるとのことであるが、広域協力対象国において緊急に教材開発を行いたい意向がある。そのため、PROMETAM 広域協力において、PROMETAM 教材を使用する旨のミニッツを教育省、国立教育大学、JICA の3者で早急に署名をする必要がある。

(2) 国家教師教育審議会

国家教師教育審議会の構想は教育省と国立教育大学との間で検討が続けられてきており、本プロジェクトにも深く関係するものである。しかしながら、特に現職教員研修部分については、いまだ具体化の途上にあることが懸念される。さらに、ホンジュラスにおいては2005年11月後半に総選挙が予定されており、それに伴い大統領選後の新政権が機能するようになるには、2006年3月ごろまでかかるものと予測される。今回の調査において、2005年の7月までに同審議会の法的措置を完了する旨を教育次官が表明したが、今後引き続きその進捗を注視する必要がある。

(3) 今後のスケジュール

上記のとおり政権交代の影響を考慮すると、第2次事前評価を11月後半の総選挙までに実施する必要がある。こうした状況を踏まえ、プロジェクト実施までのスケジュールは、現行PROMETAMの終了時評価を9月中旬～10月上旬に、PROMETAM フェーズ の第2次事前評価を10月下旬～11月上旬に実施し、R/D 署名は新政権発足後の2006年3月プロジェクト開始は2006年4月1日の予定で双方合意した。

なお、教育省エリア次官は総選挙後に退任するが、PROMETAM フェーズ の計画および第1次、第2次事前評価調査でJICAと合意した内容については、新政権に引き継ぐ旨確約した。

2. 第2次事前評価調査報告書

ホンジュラス共和国算数指導力向上プロジェクトフェーズII

第2次事前評価調査報告書

第2次事前評価調査 報告書（平成17年10月作成）

目次

第1章 調査団派遣について	63
1-1. 調査目的	63
1-2. 調査団構成	63
1-3. 調査日程	63
1-4. 主要面談者	65
第2章 調査結果要約	66
第3章 調査結果	67
第4章 プロジェクト実施に向けての留意点	69
別添:	
・ミニッツ	70

第1章 調査団派遣について

1-1. 調査目的

2005年6月に行われた本プロジェクトの第1次事前評価調査では、各国関係機関との協議の結果、広域協力の枠組みならびに各国における協力範囲に関し合意がなされた。

今般の第2次事前評価調査は、今後のR/D署名に向けて、広域協力ならびにホンジュラス国内分について、具体的な協力項目・実施体制・スケジュール等について先方関係機関と協議のうえ合意することを目指すものである。

第2次事前評価調査の具体的な派遣目的は以下の通りである。

- (1) 広域協力を円滑に進めるための実施体制や著作権問題などについて関係機関と協議する。
- (2) ホンジュラス国内における協力の実施体制を確認のうえ、具体的活動および期待される成果につき関連機関と協議・設計し、PDM・PO（案）として取りまとめる。
- (3) 上記(1)(2)についてミニッツで合意する。

1-2. 調査団構成

担当分野	所属・職位	氏名
団長	JICA 人間開発部第1グループ基礎教育第2チーム長	小川正純
協力企画	JICA 人間開発部第1グループ基礎教育第2チーム職員	小泉高子

1-3. 調査日程

本調査は、フェーズIの終了時評価調査に引き続き実施された。詳細な活動内容は、次表のとおりである。

	月日	曜	時間	活動
終了時評価	9/18	日	12:28	(三島)テグシガルパ到着(AA953) -9/24プロジェクト実績の確認、質問票の回収・分析等
	9/25	日	12:28	(礪田、田中、小泉)テグシガルパ到着(AA953)
	9/26	月	09:00 10:00 11:30 14:00	SETCO JICA事務所 日本大使館表敬 PROMETAM算数テクニコ・インタビュー
	9/27	火	9:00 10:00 12:00 14:00	PFC関係者インタビュー 帰国研修員2名(PFC局長、元INICE所長)インタビュー 昼食会(エリア次官、レア学長、ラモン前学長など) PROMETAM算数テクニコ・インタビュー
	9/28	水		Guinope/Danli授業観察 帰国研修員2名インタビュー Danli泊
	9/29	木	(午前) 12:28 15:00	Guinope/Danli授業観察 (小川)到着(AA953) 教育省エリア次官面談
	9/30	金	9:30 14:00	地方INICE La Paz訪問(フェーズⅡ国内コンポーネント実施体制確認) 帰国研修員1名(地方INICE La Paz教員)インタビュー 地方FID Intibuca 訪問(フェーズⅡ国内コンポーネント実施体制確認) 帰国研修員2名(地方FID Intibuca校長および教員)インタビュー
	10/1	土	10:00	Libertad PFC研修見学
	10/2	日		資料整理
	10/3	月	11:00	現職教員研修・新規教員養成に係る協議(INICE、教育大学、スペイン、GTZ)
	10/4	火		ミニッツ案最終協議(フェーズⅡについてもあわせて協議)
	10/5	水	8:00 14:00 17:45	ミニッツ署名 コモンファンドに係る協議(カナダ) (礪田、田中、三島)テグシガルパ発(TA391) (小川、小泉)引き続きフェーズⅡ第2次事前評価調査、10/13日本着
	第二次事前評価(＋グアテマラ立ち寄り)	10/6	木	11:00 16:00
10/7		金	14:00	ミニッツ案協議
10/8		土		ミニッツ作成
10/9		日		同上
10/10		月	9:00 14:00 17:45 18:30 18:55 19:45	ミニッツ署名 JICA事務所報告 日本大使館報告 テグシガルパ発(TA391) サンサルバドル着 同発(TA524) グアテマラシティ着
10/11		火	10:00 22:35	教育省との協議(メサ次官(技術担当)、カスタニエーダ次官(アドミ担当)) グアテマラシティ発(TA524)
10/12		水	00:40 13:05	ロサンゼルス着 同発(JL061)
10/13		木	16:25	成田着

1-4. 主要面談者

<ホンジュラス側>		
(1) 教育省		
	Ms. Elia del Cid Andrade	次官
	Ms. Claudia M. Alcerro	国際協力局長
	Ms. Xiomara Portillo	計画評価ユニット
(2) 教育省国立教育実践研究所 (INICE)		
	Mr. José Marcial Méndez	所長
(3) 国立教育大学		
	Ms. Lea Azucena Cruz Cruz	学長
	Mr. Ramon Ulises Salgado	旧教員養成校改革コーディネーター
(4) 国際協力庁 (SETCO)		
	Ms. Guadalupe Hung Pacheco	長官

<日本側>

(1) 在ホンジュラス日本大使館		
	肥塚 隆	特命全権大使
	長沼 始	参事官
	植松 聡	一等書記官
(2) JICA ホンジュラス事務所		
	鈴木 達男	所長
	富安 誠司	次長
	三浦 淳一	所員
	清水 義朝	ボランティア調整員
(3) 算数指導力向上プロジェクト		
	關谷 武司	短期専門家(教育評価)、前チーフアドバイザー
	阿部しおり	長期専門家(算数教育)
	吾郷 珠子	広域協力/業務調整
	佐藤 徹	シニア隊員
	東矢 恭介	シニア隊員
(4) 個別専門家		
	西方 憲広	長期専門家(基礎教育強化)

第2章 調査結果要約

算数指導力向上プロジェクト（Proyecto de Mejoramiento de Enseñanza Técnica en el Area de Matemática : PROMETAM）フェーズⅡでは、フェーズⅠにおいて開発した教師用指導書および生徒用作業帳を活用して行うホンジュラス国内における教員研修への協力と、広域協力により教師用指導書および生徒用作業帳の各国化に関し技術的サポートを行うとともに、各国において教員研修を推進していく中核的人材の育成を行う。

ホンジュラス国内においては、ラパス県におい INICE 地方センター（Centro Asociado de INICE : CAI）を中心として現職教員研修のモデルを構築するとともに、インティブカ県の国立教育大学基礎教育教員養成課程において新規教員養成のための支援を行う。今回、本調査団はラパス県の INICE 地方センター（CAI）およびインティブカ県の国立教育大学地方教員養成分校を訪問し、校長・教官をはじめとする関係者と協議を行うとともに視察を行ったが、PROMETAM フェーズⅠで養成された中核人材および本邦カウンターパート研修の帰国研修員がフェーズⅠの成果をしっかりと受け継ぎ、彼らが中心となってフェーズⅡプロジェクトの準備を進めていることを確認した。

広域協力コンポーネントについては、各国合同で行う広域本邦研修、ホンジュラスまたは対象国で行う広域在外研修を中心として協力が行われることになる。本調査団より、広域協力のホンジュラス実施体制について確認したところ、教育省次官より、教育省においてプロジェクトのナショナル・コーディネーターを任命し、教育省国際協力局、INICE、国立教育大学の旧教員養成校改革局・地方教員養成分校担当部から人材を配置した広域協力事務局の設置について提案があったが、本件については、新政権発足後に再度新政権に確認する必要がある。

なお、広域協力の枠組み規定は、すでに中米教育文化調整局（Coordinación Educativa y Cultural Centroamericana : CECC）メンバー国間で水平協力に関する合意文書があるため、PROMETAM フェーズⅡの広域協力もその合意文書について実施されることになる。

今後、PROMETAM フェーズⅡにおける広域協力の実施により、PROMETAM の成果がホンジュラス国内のみならず中米・カリブ諸国に普及し、将来的に各国においても算数の教員指導力が向上していくことが期待される。

第3章 調査結果

今回の調査では、(1) ホンジュラス国内、(2) 広域の2つのコンポーネントについて関連情報の収集・分析を実施し、PDM(案)およびPO(案)を作成するとともに、評価5項目に基づく事前評価表(案)の作成を行った。

(1) ホンジュラス国内コンポーネント

① 教員養成

教員養成事業の主要カウンターパート機関は国立教育大学であり、政権交代の直接的な影響は受けない見込みである。したがってプロジェクト開始直後からの活動開始が可能と見られるため、具体的な活動スケジュールを協議・検討を行った。

協力サイトとしては、インティブカ旧教員養成校が今後、国立教育大学の基礎教員養成課(Formación Inicial de Docentes : FID)として改組される予定であること、同校にはフェーズIでの本邦研修経験者が在職しており継続して新規教員養成に取り組んでいること等の理由から、インティブカ旧教員養成校をモデルとして選定し、PROMETAM教材を取り入れた算数指導法講座の内容改善に取り組むことで先方と合意した。

② 現職教員研修

現職教員研修事業の活動目的はフェーズI教材の教育現場(教室)での活用である。そのため、活動の設計に当たっては、少人数に対する確実な定着を図る研修よりも、幅広い普及効果を重視することを基本方針として調査を行った。

協力サイトとしては、カウンターパートの能力・コミットメントの高さ等の理由から、ラパス・インティブカ・コマヤグアの3県が候補として検討した結果、ラパス旧教員養成校が今後、現職教員研修を主要機能とするINICE地方センター(Centro Asociado de INICE : CAI)に改組される予定であること、同校にはフェーズIでの本邦研修経験者が在職しており現職教員研修にも意欲的であること等に鑑み、ラパス県をモデル県として選定することで先方と合意した。

また、研修以外のアプローチも用いて現職教員による教材活用を促進する観点から、算数コンテストや優秀教員への表彰制度等、教育省が実施している関連情報を収集した。今後、適切なインセンティブ付与について更に教育省等の関連機関と意見交換を行うことが必要と思われる。また、算数教育やPROMETAM教材の有効性の効果的アピールを行うため、広報啓発の短期専門家を派遣計画に含めることとした。

なお、ベースとなる「国家教員養成研修システム」が未だ策定中であり、さらに2006年1月の政権交代の影響も予測される。そのため本活動についてはプロジェクト開始(2006年4月)直後からの開始は困難な見込みである。

③ 教材リバイス

2005年6月に国定教材として全国配布されたフェーズⅠ教材のリバイスにあたっては、同教材を実際に教室で使用する現職教員からの声を反映させることが不可欠である。しかしながら、終了時評価のデータ収集や他ドナー情報、教育省次官との協議等を通じて把握した限りでは、今回の調査（2006年10月）段階では、地域によって未だ十分な数の指導書・作業帳が行き渡っていない学校があることが確認された。完全配布に至っていない理由は様々であるが、教育統計の不備、配布ロジスティクス（ホンジュラス国軍が担当）の問題、全国配布が学年度（2-11月）の途中であったこと、等があげられた。

教材の配布は、教材リバイスだけでなく、教員養成や現職教員研修等を含むフェーズⅡの前提となる問題である。そのため本調査団からは、配布状況の詳細な調査ならびに状況の早急な改善を教育省次官との協議において要望した。

（2）広域コンポーネント

① 実施に係る予算措置

ホンジュラスのフェーズⅡとしての広域コンポーネントは、対象各国における算数教育の中核人材の能力強化を図るものであるが、これと連動して実施される対象各国の技術協力プロジェクトにおいては、教材経費（印刷・配布等）ならびに研修経費が高額となることが予想される。JICA 技術協力プロジェクト経費では、パイロットレベル支援は可能であるが、それ以上の大規模な展開には限界がある。積極的な援助協調を通じてプロジェクト成果の普及・拡大に成功したホンジュラスフェーズⅠの経験に基づき、わが国他スキーム（例：草の根無償）あるいは他ドナー連携による対応を提案・推進していく必要がある。

② 実施体制

自立発展性の観点から、中米カリブ地域のオーナーシップを醸成する体制作りが必要であり、そのためには地域機関である CECC の巻き込みが有効であると考えられる。しかしながら、第1次事前評価調査時における対象各国との協議結果を考慮すると、広域事務局を CECC 内部に位置付ける場合、意思決定・書類手続き等に多大な時間・労力が必要とされ、効率的でないことが懸念される。そのため、事務局は CECC 内ではなくホンジュラスのフェーズⅡプロジェクト内に設置することとし、同事務局の立ち上げ後、ある程度の広域協力の活動実績を積んだうえで CECC の承認・後援を得るような進め方が現実的と判断される。

第4章 プロジェクト実施に向けての留意点

2005年6月にPROMETAM 教師用指導書・生徒用作業帳が全国配布されたが、2005年9-10月にかけて実施したフェーズⅠの終了時評価調査では、これら教材の配布状況が地域によって差異があり、十分な数の配布に至っていない地域もあることが確認された。

フェーズⅡプロジェクトにおいては、教師用指導書・生徒用作業帳を用いた授業を教員が実施可能とするためのトレーナー研修を全国12の旧教員養成校を通じて行う予定である。そのためにも、まずは教師用指導書・生徒用作業帳をいまだ受け取っていない学校に確実に配布を行うとともに、生徒用作業帳の継続的配布が毎年行われる必要があるため、この点についてホンジュラス教育省には調査団より強く申し入れを行った。


また、ホンジュラスにおいて2005年11月に大統領選挙が予定されていることにも留意が必要である。政権交代によって教育省次官および局長クラスも変わることになるため、今回調査で協議した内容が新政権においても引き継がれPROMETAM フェーズⅡの確実な実施につながっていくことが強く望まれる。

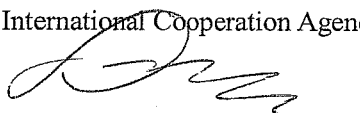
MINUTES OF MEETING
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
HONDURAS
ON
TECHNICAL COOPERATION FOR THE PROJECT FOR THE IMPROVEMENT OF
TEACHING METHOD IN MATHEMATICS (PROMETAM) PHASE2


The Second Preparatory Study Team (hereinafter referred to as “the Team”) of Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) visited the Republic of Honduras from October 6 to 10, 2005 and had a series of discussions with the Honduran authorities concerned on desirable measures to be taken by both Japanese and Honduran Governments for successful implementation of the Project for the Improvement of Teaching Method in Mathematics (PROMETAM) Phase2 (hereinafter referred to as “the Project”).

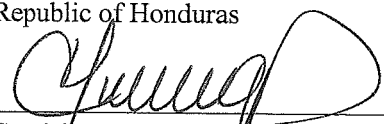
As a result of the discussions, the Team and the undersigned government authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Tegucigalpa, October 10, 2005


Mr. Masazumi Ogawa
Leader
Japanese Preparatory Study Team
Japan International Cooperation Agency
Japan


Ms. Lea Azucena Cruz Cruz
President,
National Pedagogic University
The Republic of Honduras


Mr. Roberto Martínez Lozano
Secretary
Secretariat of Education
The Republic of Honduras


Ms. Guadalupe Hung Pacheco
Honorable Witness,
Technical Secretariat of International Cooperation
(SETCO)
The Republic of Honduras

ATTACHED DOCUMENT

I. BACKGROUND OF THE PROJECT

Providing quality educational opportunities beyond access to all children is one of the most critical issues for Honduras, as its primary enrolment has made rapid strides over the last decade while repetition and drop-out rates need further improvement. The Honduran government has set the goal of attaining “full coverage and completion of six years of primary education for all children of school age of both sexes, by 2015”. With its EFA plan and PRSP, Honduras has been selected as one of the EFA-FTI countries, and various donors (including Japan) are supporting this national initiative.

Japan has been supporting educational development in Honduras over decades. Among other cooperation projects, PROMETAM (Spanish abbreviation for Project for the Improvement of Teaching Method in Mathematics) has been made remarkable success, as its teaching materials (for teachers and pupils) has authorized as National teaching materials by Honduran Secretary of Education in 2005 and its in-service teacher training has contributed to provide effective teaching method to teachers for Grade 1 to 6.

In the course of implementing the Project, PROMETAM has interacted with other Central America and the Caribbean countries and shared its experience on improving Mathematics teaching and learning through teaching material development and in-service teacher training. These interactions include the 8th conference of CECC (Coordinación Educativa y Cultural Centroamericana) in which the successful attainments of the PROMETAM was presented and highly appreciated by the member countries that are tackling quality improvement of education. As a consequence, the Government of Honduras and several other neighboring countries requested the Government of Japan for Technical Cooperation as regional PROMETAM composed by the following two dimensions: a) bilateral cooperation (projects that operate in each member country for strengthening teacher education), and b) regional cooperation (capacity development of core personnel for teacher education) through training in Honduras and networking the participating countries.

It is much efficient that the experience should be shared and utilized through the network by conducting trainings in Honduras for personnel from the region and technical exchange visits in order to improve mathematics teaching. These strategies are in line with current Japanese Official Development Assistance policy as it emphasizes on strengthening teacher education and supports regional collaboration among countries that shares similar cultural and linguistic background.

Handwritten signatures and initials in black ink on the right margin of the page. There are four distinct marks: a signature at the top, initials 'SA' in the middle, a signature 'd' below that, and initials 'of' at the bottom.

II. OUTLINE OF THE PROJECT

The both sides agreed on the framework of the Project as follows. The details will be further discussed and summarized as Record of Discussion (R/D) by March, 2006.

1. Overall Goal

(National)

Students' academic achievement in mathematics for Grade 1-6 mainly in pilot areas improved.

(Regional)

Teaching method in mathematics for teachers of targeted countries improved.

2. Project Purpose

(National)

Teaching method in mathematics for Grade 1-6 for teachers and FID students mainly in pilot areas improved.

(Regional)

Capacity of the core group members to improve teaching method in mathematics in targeted countries developed.

3. Outputs

(National)

- 1 Teachers' guidebook and students' workbook for Grade 1 - 6 in mathematics is revised.
- 2 Teachers of 12 "escuela normal" have capacity to work as trainers on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 3 FID students of "escuela normal" in the department of Intibuca have capacity to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.

(Regional)

- 1 The core group members obtain necessary competence for development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook in each country, based on the materials developed by PROMETAM.
- 2 The core group members obtain necessary competence for execution of pre-service and in-service teacher training in each country.
- 3 The project experiences are shared among targeted countries and others.

4. Activities

(National)

Handwritten signatures and initials on the right margin, including a large signature at the top, the letters 'SA' in the middle, and another signature at the bottom.

- 1-1 To plan revision process of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 1-2 To revise teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 2-1 To plan training for mathematics teachers in 12 "escuela normal" on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 2-2 To train mathematics teachers in 12 "escuela normal" about the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 3-1 To make plans on training manual development, trainers' training and monitoring for mathematics teachers in the "escuela normal" in the department of Intibuca to enable their FID students to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 3-2 To make Lesson plans on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6 at the "escuela normal" in the department of Intibuca.
- 3-3 To implement additional trainings for mathematics teachers of the "escuela normal" in the department of Intibuca.
- 3-4 To carry out monitoring of FID classes on the use of teachers' guidebook and students' workbook implemented by the mathematics teachers in the "escuela normal" in the department of Intibuca.
- 4-1 To make plans on training manual development, trainers' training and monitoring for teachers in the department of La Paz to conduct trainings for in-service teachers in the department of La Paz.
- 4-2 To develop training manual for in-service teachers in the department of La Paz on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 4-3 To implement additional trainings for mathematics teachers of the "escuela normal" in the department of La Paz.
- 4-4 To support in-service teacher training implemented by teachers of the "escuela normal" of La Paz on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 4-5 To carry out monitoring of the trainings implemented in 4-4.
- 5-1 To publish and distribute the Project Newsletter periodically.
- 5-2 To conduct IEC (Information, Education and Communication) activities to promote the effectiveness on teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.

(Regional)

- 1-1 To make training plans related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook.
- 1-2 To implement trainings in Japan related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook.

Handwritten signatures and initials on the right margin, including a large signature at the top, a smaller signature below it, and a set of initials at the bottom.

- 1-3 To implement trainings related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook in Honduras and other countries.
- 1-4 To implement additional trainings and monitoring related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook depending on the needs of each targeted country.
- 2-1 To make training plans related to pre-service and in-service teacher training.
- 2-2 To implement trainings in Japan related to pre-service and in-service teacher training.
- 2-3 To implement trainings related to pre-service and in-service teacher training in Honduras and other countries.
- 2-4 To implement additional trainings and monitoring related to pre-service and in-service teacher training depending on the needs of each targeted country.
- 3-1 To establish a communication network through internet (mailing list, HP etc.) among the actors related to the Project.
- 3-2 To make plans for International Symposiums.
- 3-3 To hold International Symposiums.
- 3-4 To publish the Project Newsletter.

5. Inputs

<Japanese side>

a. Assignment of long-term experts:

- 1. Chief Advisor (1)
- 2. Coordinator (1)
- 3-4. Mathematics Education (2)

b. Assignment of short-term experts:

- 1. Planning of Training
- 2. Improvement of Teaching Method
- 3. Education Evaluation
- 4. Information, Education and Communication (IEC)
- 5. Others (as necessary)

c. Training of counterpart personnel in Japan

d. Training of counterpart personnel in Honduras and in other countries

e. Equipment

- 1. Vehicle

f. Expenses necessary for the implementation of the Project

a.
 b.
 c.
 d.
 e.
 f.

<Honduran side>

a. Allocation of counterpart personnel

1. Sub-secretary for technical pedagogy of the Secretariat of Education (SE)
2. President of National Pedagogic University "Francisco Morazan"(UNPFN)
3. National Coordinator of the Project
4. Director of National Institute of Educational Investigation and Training (INICE)
5. General Coordinator of the Unit for Transformation of "escuela normal",UNPFM
6. Coordinator of pre-service teachers' training (FID),UNPFM
7. Director of the Planning and Performance evaluation Unit (UPEG), SE
8. National Counterpart in mathematics education, UNPFM
8. 2 National Counterparts, SE
9. National secretariat of Centroamerican Educational and Cultural coordination (CECC)
10. Person in charge, INICE
11. 30 Teachers in charged of Mathematics Teaching method in 12 "escuela normal"
12. 34 Teachers as instructors for in-service training in "escuela normal" La Paz
13. Directors of the department and district education offices in La Paz and Intibuca, School directors in both departments

b. Project offices and facilities at INICE, UPN, "escuela normal" in La Paz and Intibucá

c. Expenses necessary for the implementation of the Project (Security for Vehicle, Fuel, etc)

【Project Design Matrix (PDM)】

Both sides agreed on the first draft of PDM in Annex 1(national) and 2(regional). Japanese side will submit the final draft of the PDM for both national and regional Project by 26th January, 2006 and Honduran side will provide comments and requests for modifications by 15th February, 2006.

【Plan of Operation (PO)】

Both sides agreed on the first draft of PO in Annex 3(national) and 4(regional). Japanese side will submit the final draft of PO by 26th January, 2006 and Honduran side will provide comments and requests for modifications by 15th February, 2006.

III. DURATION OF THE PROJECT

The duration of technical cooperation for the Project will be five years, from 1st of April 2006 to 31st March, 2011.

IV. TARGET DEPARTMENT OF THE PROJECT (NATIONAL)

The both sides agreed that the Project will mainly target department of La Paz (for in-service

teacher training component) and Intibucá (for pre-service teacher training component). Participation of other departments may be considered at a later stage of the Project implementation (e.g. mid-term evaluation).

V. TARGET GRADE OF THE PROJECT (NATIONAL)

The Project will target Grade 1 to 6. Regarding Grade 7 to 9, Honduran C/P will continue teaching material development by themselves and Japanese experts will provide necessary advice to Honduras C/P. Training concerning Grade 7 to 9 will be considered when the corresponding sector plan is developed.

VI. ORGANIZATION AND ADMINISTRATION OF THE PROJECT

The both sides agreed on the first draft on the design of organization and administration of the Project (national and regional) in Annex 5. Honduran side will review and submit the final draft of the design by 15th February, 2006.

1. Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee will be held annually (and if the need arises) to supervise Annual Work Plan and review overall progress of the Project. The member will be nominated from both Honduran and Japanese sides by 15th February, 2006.

2. Steering Committee

Steering Committee will be held quarterly (and if the need arises) to formulate Annual Work Plan and to coordinate Project activities and achievement of the Project outcomes. The member will be nominated from both Honduran and Japanese sides by 15th February, 2006.

3. Establishment of the Secretariat for regional cooperation

The both side agreed to set up the Secretariat for regional cooperation for the purpose of coordination, technical assistance and networking (including sharing information) among the member countries. Since there already exists an agreement on horizontal cooperation among CECC member countries, the regional cooperation of the Project will be implemented based on the above agreement.

VII. Dispatch of JOCV(Japan Overseas Cooperation Volunteers)





JOCV will be dispatched in collaboration with the Project to conduct activities at district and/or school level.

Handwritten signatures and initials on the right margin, including "E. Pru", "M", and "Cf".

ANNEX1 PDM(NATIONAL) FIRST DRAI

**PROJECT TITLE: PROJECT FOR THE IMPROVEMENT OF TEACHING METHOD IN MATHEMATICS
(PROMETAM) PHASE2**

Duration: April 2006 - March 20

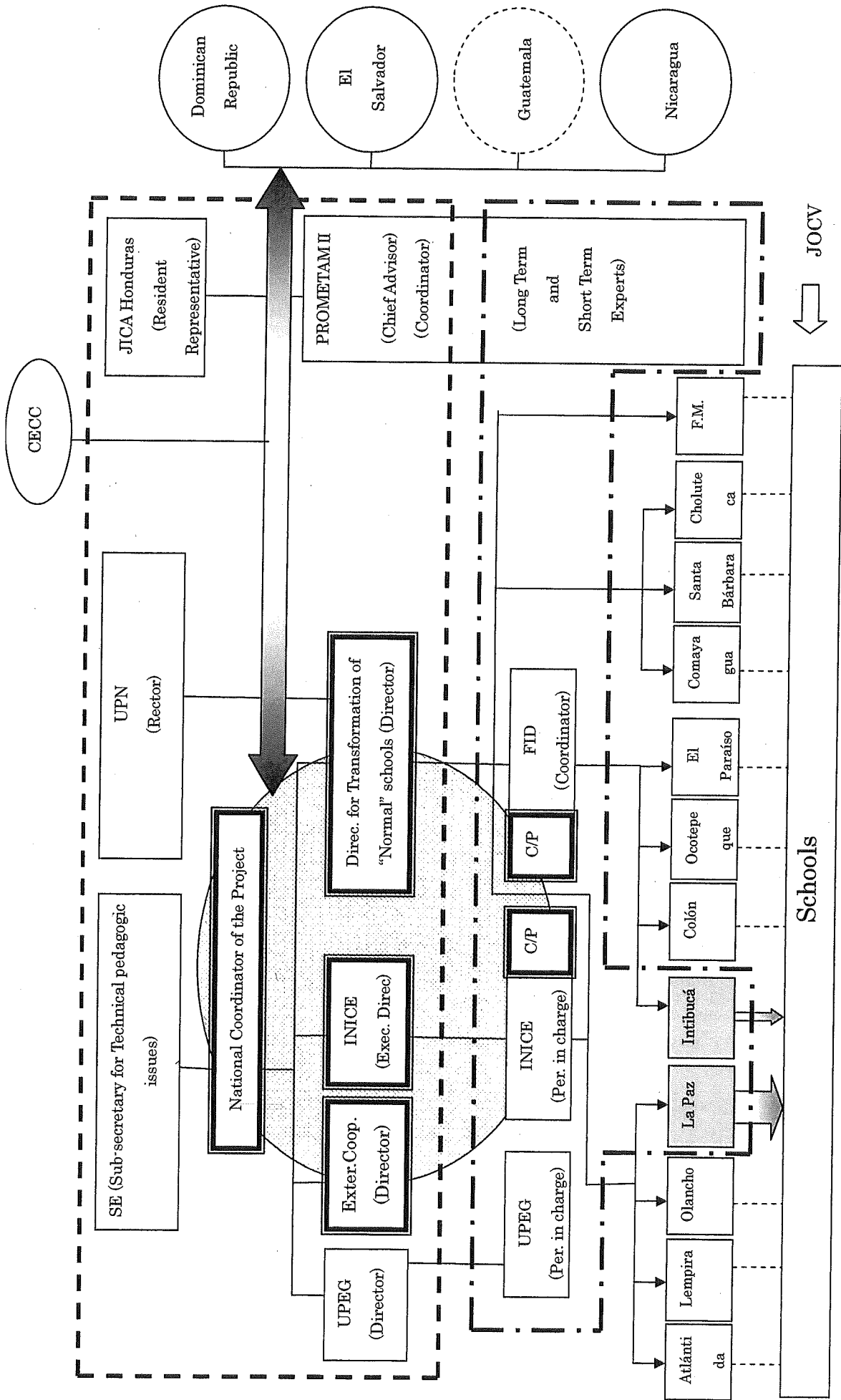
NARRATIVE SUMMARY	VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>[OVERALL GOAL] Students' academic achievement in mathematics for Grade 1-6 mainly in pilot areas improved.</p>	<p>Results of achievement test for the students in mathematics by UMCE</p>	<p>Report of UMCE</p>	<p>Classes are conducted by teachers and not affected by teachers strikes and etc.</p>
<p>[PROJECT PURPOSE] Teaching method in mathematics for Grade 1-6 for teachers and FID students mainly in pilot areas improved.</p>	<p>Results of analysis of mathematics classes</p>	<p>Report of the Project</p>	<p>The education policy regarding basic education curriculum is not changed.</p>
<p>[OUTPUTS]</p> <p>1. Teachers' guidebook and students' workbook for Grade 1-6 in mathematics is revised.</p> <p>2. Teachers of 12 "escuela normal" have capacity to work as trainers on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>3. FID students of "escuela normal" in the department of Intibuca have capacity to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6 .</p> <p>4. In-service teachers in the department of La Paz have capacity to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>5. General interests in Mathematics education are increased.</p>	<p>1.Authorization by Secretariat of Education</p> <p>2-1.Results of test of achievement and teaching method. 2-2.Results of analysis of trainers' training.</p> <p>3.Results of analysis of classes on the teaching method in mathematics.</p> <p>4.Results of analysis of mathematics classes</p> <p>5(a)Frecuency and number of copies of the Project Newsletter. 5(b)Recognition of the Project.</p>	<p>1. Report of the Project</p> <p>2. Report of the Project</p> <p>3. Report of the Project</p> <p>4. Report of the Project</p> <p>5.Report of the Project</p>	<p>The education policy is not changed in the area of mathematics of basic education.</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">     </div>

[ACTIVITIES]	[INPUTS]	
<p>1-1 To plan revision process of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>1-2 To revise teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>2-1 To plan training for mathematics teachers in 12 "escuela normal" on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>2-2 To train mathematics teachers in 12 "escuela normal" about the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>3-1 To make plans on training manual development, trainers' training and monitoring for mathematics teachers in the "escuela normal" in the department of Intibuca to enable their FID students to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>3-2 To make Lesson plans on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6 at the "escuela normal" in the department of Intibuca.</p> <p>3-3 To implement additional trainings for mathematics teachers of the "escuela normal" in the department of Intibuca.</p> <p>3-4 To carry out monitoring of FID classes on the use of teachers' guidebook and students' workbook implemented by the mathematics teachers in the "escuela normal" in the department of Intibuca.</p> <p>4-1 To make plans on training manual development, trainers' training and monitoring for teachers in the department of La Paz to conduct trainings for in-service teachers in the department of La Paz.</p> <p>4-2 To develop training manual for in-service teachers in the department of La Paz on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>4-3 To implement additional trainings for mathematics teachers of the "escuela normal" in the department of La Paz.</p> <p>4-4 To support in-service teacher training implemented by teachers of the "escuela normal" of La Paz on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p> <p>4-5 To carry out monitoring of the trainings implemented in 4-4.</p> <p>5-1 To publish and distribute the Project Newsletter periodically.</p> <p>5-2 To conduct IEC (Information, Education and Communication) activities to promote the effectiveness on teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.</p>	<p>Japanese side</p> <p>a. Assignment of long-term experts:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Chief Advisor (1) 2. Coordinator (1) 3-4. Mathematics Education (2) <p>b. Assignment of short-term experts:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Planning of Training 2. Improvement of Teaching Method 3. Education Evaluation 4. Information, Education and Communication (IEC) 5. Others (as necessary) <p>c. Training of counterpart personnel in Japan</p> <p>d. Training of counterpart personnel in Honduras and in other countries</p> <p>e. Provision of equipment</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Vehicle <p>f. Expenses necessary for the implementation of the Project</p>	<p>Honduran side</p> <p>a. Allocation of the following C/Ps:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Sub-secretary for technical pedagogy of SE 2. President of UNPFN 3. National Coordinator of the Project 4. Director of INICE 5. General Coordinator of the Unit for Transformation of "escuela normal", UNPFM 6. Coordinator of pre-service teachers' training (FID), UNPFM 7. Director of the Planning and Performance evaluation Unit (UPEG), SE 8. National Counterpart in mathematics education, UNPFM 8. 2 National Counterparts, SE 9. National secretariat of CECC 10. Person in charge, INICE 11. 30 Teachers in charged of Matemathics Teaching method in "escuelas normales" 12. 34 Teachers as instructors for in-service training in La Paz 13. Directors of the department and district education offices in La Paz and Intibuca, School directors in both departments <p>b. Project Offices and other facilities that are necessary for the Project at INICE, UNPFM, "Normal" school in La Paz and Intibucá</p> <p>c. Expenses necessary for the implementation of the Project (Security for Vehicle, Fuel, etc)</p>
		<p>Preconditions: The Secretariat of Education allocates C/Ps in 12 "escuela normal" and guarantees their activities in the Project.</p>

DM
SA
M

CF

ANNEX5 Organization Chart of PROMETAM Phase II



 Joint Coordination Committee
 Steering Committee
 Secretariat for Regional Cooperation

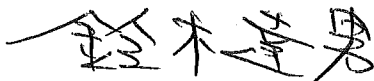
RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF HONDURAS
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT FOR IMPROVEMENT OF TEACHING METHOD IN
MATHEMATICS (PROMETAM) PHASE II

Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") through its Resident Representative of Honduras office had a series of discussions with the Honduran authorities concerned for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Project for Improvement of Teaching Method in Mathematics (PROMETAM) Phase II in the Republic of Honduras. The both sides also discussed desirable measures to be taken by JICA and Honduran Government for the successful implementation of the above-mentioned Project.

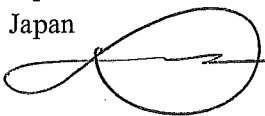
As a result of the discussions, both sides agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto for the successful implementation of the Project.

These texts were done in both English and Spanish. Each text is equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

Tegucigalpa, March 28th, 2006



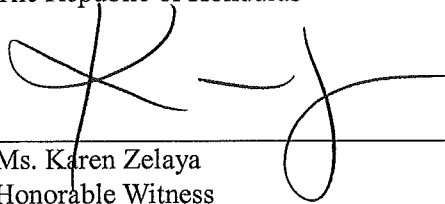
Mr. Tatsuo Suzuki
Resident Representative
JICA Honduras Office
Japan International Cooperation Agency
Japan



Ms. Lea Azucena Cruz Cruz
President,
National Pedagogic University Francisco
Morazán
The Republic of Honduras



Mr. Rafael Pineda Ponce
Secretary
Secretariat of Education
The Republic of Honduras



Ms. Karen Zelaya
Honorable Witness
Secretary
Technical Secretariat of International
Cooperation (SETCO)
The Republic of Honduras

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND HONDURAN GOVERNMENT

1. The Government of Honduras will implement the Project for Improvement of Teaching Method in Mathematics (PROMETAM) Phase II (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in Annex I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, JICA will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in Annex II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in Annex III. The Equipment will become the property of the Government of Honduras upon being delivered C.I.F. (cost, insurance and freight) to the Honduran authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation or upon being delivered to the appointed site in case of local procurement. JICA will reserve a right to use the Equipment preferentially during the period of the Project.

3. TRAINING OF HONDURAN PERSONNEL IN JAPAN AND IN THIRD

Handwritten signatures and initials on the right margin, including a large 'D' and 'U' and a signature at the bottom.

COUNTRIES

JICA will receive the Honduran personnel connected with the Project for technical training in Japan and make necessary arrangements for conducting technical training in third countries.

4. TRAINING FOR PERSONNEL OF TARGET COUNTRIES IN HONDURAS

JICA will make necessary arrangements for conducting technical training for personnel of target countries of the regional component of the Project in Honduras.

Note: Target countries of the regional component of the Project are indicated in the Project Design Matrix (PDM) attached to the Minutes of Meeting. At the beginning of the Project, target countries refer to the following five countries: Honduras, El Salvador, Nicaragua, Guatemala and Dominican Republic. Adding other countries as target countries will be considered when officially requested

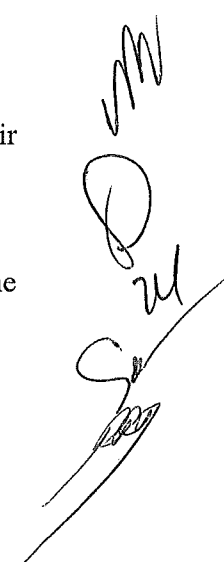
III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF HONDURAS

1. The Government of Honduras will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of Honduras will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Honduran nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of Honduras.
3. The Government of Honduras will grant in Honduras privileges, exemptions and benefits as listed in Annex IV and will grant privileges, exemptions and benefits no less favorable than those granted to experts of third countries or international

Handwritten signature and initials, possibly 'S. P. W.', written vertically on the right side of the page.

organizations performing similar missions to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.

4. The Government of Honduras will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in Annex II.
5. The Government of Honduras will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Honduran personnel from technical training in Japan, in Honduras, and in any other third countries will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the laws and regulations in force in Honduras, the Government of Honduras will take necessary measures to provide at its own expense:
 - (1) Services of the Honduran counterpart personnel and administrative personnel as listed in Annex V;
 - (2) Land, buildings and facilities as listed in Annex VI;
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under II-2 above ;
 - (4) Means of transport and travel allowances for the Japanese experts for official travel within Honduras; and
 - (5) Suitably furnished accommodation for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the laws and regulations in force in Honduras, the

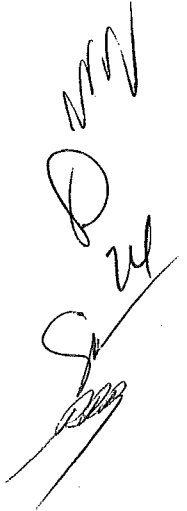
Handwritten signature and initials in black ink, located in the bottom right corner of the page. The signature appears to be 'S. M.' with a large flourish underneath.

Government of Honduras will take necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for transportation within Honduras of the equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in Honduras on the Equipment referred to in II-2 above; and
- (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The Vice Secretary for Technical Pedagogic Issues of Secretariat of Education, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The President of National Pedagogic University Francisco Morazán, as the Vice-Project Director, will support the Project Director.
3. The Executive Director of INICE, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
4. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
5. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Honduran counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the

Handwritten signature and initials in the right margin, including a large 'D' and 'S'.

Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in Annex VII.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by JICA and the Honduran authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of Honduras undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Honduras except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Honduran Government on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Honduras, the Government of Honduras will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Honduras.

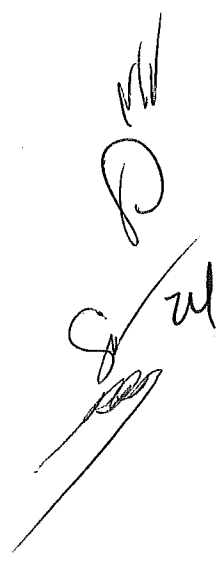
IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached

Handwritten signature and initials in the right margin, including a large 'D' and 'P' and a signature below.

Document will be 5 (five) years from April 1st, 2006.

ANNEX I	MASTER PLAN
ANNEX II	LIST OF JAPANESE EXPERTS
ANNEX III	LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
ANNEX IV	PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR JAPANESE EXPERTS
ANNEX V	LIST OF HONDURAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
ANNEX VI	LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES
ANNEX VII	JOINT COORDINATING COMMITTEE

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page. The signature appears to be 'S. P.' with a large flourish underneath. To the right of the signature are the initials 'W' and 'M'.

ANNEX I MASTER PLAN

1. Objective of the Project

(1) Overall Goal

a) National

Students' academic achievement in mathematics for Grade 1-6 mainly in pilot areas improved.

b) Regional

Teaching method in mathematics for teachers of target countries improved.

(2) Project Purpose

a) National

Teaching method of teachers and FID students in mathematics for Grade 1-6 mainly in pilot areas improved.

Note: FID is abbreviation of "Formación Inicial de Docentes" and refers to basic education teacher training program of the National Pedagogic University Francisco Morazán.

b) Regional

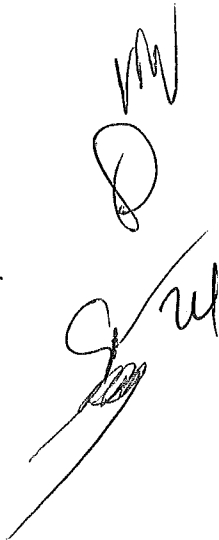
Capacity of the core group members to improve the teaching method in mathematics in targeted countries developed.

Note: Core group members are counterparts in the targeted countries who will receive direct technology transfer from the Project.

2. Outputs of the Project

a) National

1. Teachers' guidebook and students' workbook for Grade 1-6 in mathematics is revised.
2. Teachers of 12 "Escuela Normal" have capacity to work as trainers on the use of



teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.

3. FID students of "Escuela Normal" in the department of Intibucá have capacity to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
4. In-service teachers in the department of La Paz have capacity to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
5. General interests in Mathematics education are increased.

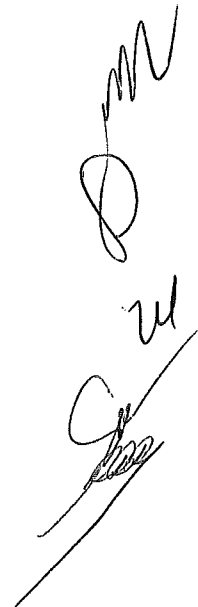
b) Regional

1. The core group members obtain the necessary competence for development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook in each country, based on the materials developed by PROMETAM.
2. The core group members obtain the necessary competence to implement pre-service and/or in-service teacher training in each country.
3. The project experiences are shared among targeted countries and others.

3. Activities of the Project

a) National

- 1-1 To plan revision process of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 1-2 To revise teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 2-1 To plan training for mathematics teachers in 12 "Escuela Normal" on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 2-2 To train mathematics teachers in 12 "Escuela Normal" about the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 3-1 To make plans on training manual development, trainers' training and monitoring for mathematics teachers in the "Escuela Normal" in the department of Intibucá to enable their FID students to utilize teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 3-2 To make Lesson plans on the use of teachers' guidebook and students' workbook

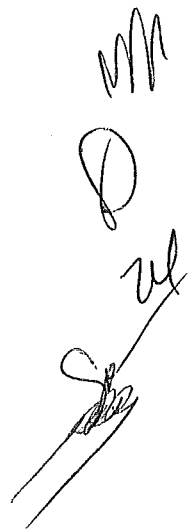


in mathematics for Grade 1-6 at the "Escuela Normal" in the department of Intibucá.

- 3-3 To implement additional trainings to 2-2 for mathematics teachers of the "Escuela Normal" in the department of Intibucá.
- 3-4 To carry out monitoring of FID classes on the use of teachers' guidebook and students' workbook implemented by the mathematics teachers in the "Escuela Normal" in the department of Intibucá.
- 4-1 To make plans on training manual development, trainers' training and monitoring for teachers in the department of La Paz to conduct trainings for in-service teachers in the department of La Paz.
- 4-2 To develop training manual for in-service teachers in the department of La Paz on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 4-3 To implement additional trainings for mathematics teachers of the "Escuela Normal" in the department of La Paz.
- 4-4 To support in-service teacher training implemented by teachers of the "Escuela Normal" of La Paz on the use of teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.
- 4-5 To carry out monitoring of the trainings implemented in 4-4.
- 5-1 To publish and distribute the Project Newsletter periodically.
- 5-2 To conduct IEC (Information, Education and Communication) activities to promote the effectiveness on teachers' guidebook and students' workbook in mathematics for Grade 1-6.

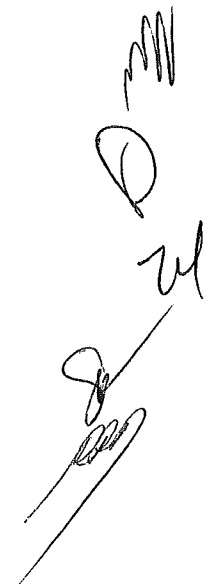
b) Regional

- 1-1 To make training plans related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook.
- 1-2 To implement trainings in Japan related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook.
- 1-3 To implement trainings related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook in Honduras and other countries.
- 1-4 To implement additional trainings and monitoring related to development and adjustment of teachers' guidebook and students' workbook depending on the

Handwritten signatures and initials in the right margin, including a large signature at the bottom and several smaller initials above it.

needs of each targeted country.

- 2-1 To make training plans related to pre-service and/or in-service teacher training.
- 2-2 To implement trainings in Japan related to pre-service and/or in-service teacher training.
- 2-3 To implement trainings related to pre-service and/or in-service teacher training in Honduras and other countries.
- 2-4 To implement additional trainings and monitoring related to pre-service and in-service teacher training depending on the needs of each targeted country.
- 3-1 To establish a communication network through internet (mailing list, HP etc.) among the actors related to the Project.
- 3-2 To make plans for International Symposiums.
- 3-3 To hold International Symposiums.
- 3-4 To publish the Project Newsletter.

Handwritten signature and scribbles in the bottom right corner of the page.

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS

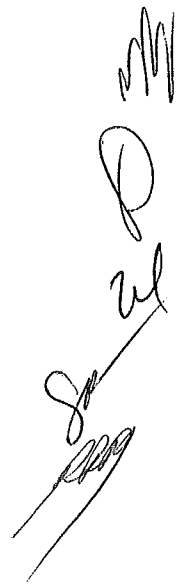
1. Long-term experts

- (1) Chief Advisor
- (2) Coordinator
- (3) Mathematics Education 1
- (4) Mathematics Education 2

2. Short-term experts

- Planning of Training
- Improvement of Teaching Method
- Evaluation of Education
- Information, Education and Communication
- Others (as necessary)

Note: Each long-term expert could concurrently act as expert in another field, if necessary.

Handwritten signature and initials in the bottom right corner of the page. The signature appears to be 'S. P. ul' with a large 'M' above it and some scribbles below.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Vehicle for monitoring Project activities
2. Equipment necessary for the implementation of the Project

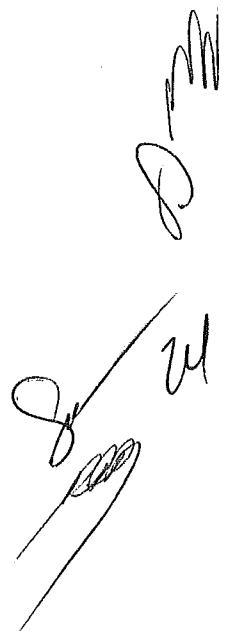
Note:

1. The above-mentioned equipment is limited to equipment necessary for the transfer of technology by the Japanese experts and for implementing Project activities.
2. The contents, specifications and quantity of the above-mentioned equipment to be provided each year will be discussed in principle every year between the Japanese experts and the Honduran counterpart personnel based on the annual plan of the Project, within the allocated budget of the Japanese fiscal year.



**ANNEX IV PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS FOR
JAPANESE EXPERTS**

1. Exemption from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.
2. Exemption from import duties and any other charges in respect of personal and household effects including motor vehicles for experts which may be brought into Honduras from abroad.
3. In case of accident or emergency, the Government of Honduras will use all available means to obtain medical and other necessary assistance for the Japanese experts and their families.

Handwritten signatures and initials in the bottom right corner of the page. There are three distinct marks: a large, stylized signature, a smaller signature, and a set of initials.

ANNEX V LIST OF HONDURAN COUNTERPART PERSONNEL AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Counterpart personnel

(1) National

- Vice-Secretary for Technical Pedagogic Issues of the Secretariat of Education (SE):
Project Director
- President of National Pedagogic University "Francisco Morazan"(UNPFM): Vice
Project Director
- Executive Director of National Institute of Educational Investigation and Training
(INICE): Project Manager
- General Coordinator of the Unit for Transformation of "Escuela Normal", UNPFM
- Coordinator of pre-service teachers' training (FID), UNPFM
- Director of the Planning and Performance evaluation Unit (UPEG), SE
- One National Counterpart (exclusively work for the project) in mathematics education,
UNPFM
- 2 National Counterparts (exclusively work for the project) in mathematics education,
SE
- Person in charge, INICE

(2) Department and District

- At least 2 teachers in charge of mathematic teaching method in each of "Escuelas
Normales"
- At least 5 full-time teachers (exclusively work for the project) as instructors for
in-service training in the "Escuela Normal" in La Paz
- Directors of the department and district education offices in La Paz and Intibucá,
School directors in both departments

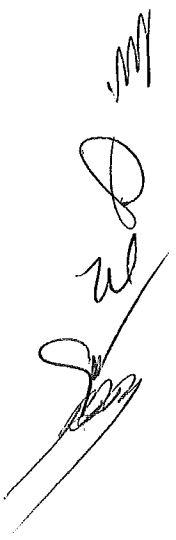
2. Administrative personnel

- Secretaries
- Drivers
- Other supporting staffs



ANNEX VI LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

1. Project offices and other facilities necessary for the Japanese experts and Honduran personnel to implement the Project at INICE, UPN, "Escuelas Normales" of La Paz and Intibucá.
2. Facilities and services such as electricity, water supply, telephone and furniture necessary for the Project activities.
3. Other facilities mutually agreed upon as necessary for the implementation of the Project.

A handwritten signature in black ink, located in the bottom right corner of the page. The signature is stylized and appears to consist of several connected loops and lines.

ANNEX VII JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Functions

The Joint Coordinating Committee will meet once a year or whenever the necessity arises in order to fulfill the following function:

- (1) To formulate and decide the annual work plan of the Project
- (2) To review the progress of the annual work plan
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the Project
- (4) To discuss any other issues pertinent to the smooth implementation of the Project.

2. Composition

(1) Chairperson:

Vice Secretary for Technical Pedagogic Issues of the Secretariat of Education

(2) Co-Chairperson:

President of the Universidad Pedagógica Nacional "Francisco Morazán"

(3) Members

a) Honduran side:

- Vice Secretary for Technical Pedagogic Issues of the Secretariat of Education
- President of the Universidad Pedagógica Nacional "Francisco Morazán"
- Executive Director of INICE
- General Coordinator of the Unit for Transformation of "Escuela Normal", UNPFM

b) Japanese side:

- Chief Adviser
- Coordinator
- Experts
- Representative(s) of JICA Honduras Office
- Members of JICA study team, to be dispatched when necessary

- (4) The Joint Coordinating Committee can invite any related person to discuss specific issues.

Note: Representative(s) of the Embassy of Japan in Honduras may attend the Joint Coordinating Committee meetings as observer(s).

Handwritten signatures and initials on the right side of the page, including a large signature at the bottom and several smaller initials above it.

